

令和4年度 第8回吉川区地域協議会次第

日時：令和4年9月22日（木）午後6時30分
場所：吉川コミュニティプラザ 大会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 報告事項

(1) 会長報告

(2) 委員報告

(3) 事務局報告

・吉川保健センターの用途変更について（健康づくり推進課）

4 協議事項

(1) 「新市建設計画の変更について」の諮問に対する答申について

(2) 自主的審議事項について（(仮称) 地域独自の予算について）

(3) その他について

5 総合事務所からの諸連絡について

6 そ の 他

・次回地域協議会の日程調整 月 日（ ） 時 分から

7 閉 会

吉川保健センターの廃止及びコミュニティプラザへの用途変更について

1 市の方針

吉川保健センターについては、通年で行われていた乳幼児健診や母子保健教室等を大湊保健センターでの合同実施に変更したことに伴い、本来の保健事業の利用が減少し、主に市民活動等の場として活用されています。

そのような利用実態を踏まえ、吉川保健センターについては、公の施設の適正配置計画に基づき、令和4年度末で廃止し、その後は、併設する吉川コミュニティプラザに用途変更することとしています。

なお、吉川コミュニティプラザへの用途変更後も、現在の利用形態が変わるものではありませんので、現状と同様に市民活動等の場として活用いただきたいと思います。

2 施設概要等 参考資料のとおり

3 吉川コミュニティプラザとしての活用（案）

現状の利用形態を継続するものとし、主に市民活動等の場として活用されているスペースについては貸館施設として位置付け、現在の利用者はもとより、広く市民の方から利用いただけるスペースとします。

現在、外部団体の事務室として使用しているスペースや主に市の会議や事業等で使用しているスペースは、貸館施設とはせず現状の利用を継続します。

○吉川保健センターの施設一覧

階数	施設名称	用途変更後の位置付け
1階	事務室	現状どおり
	多目的ホール	【貸館】会議室
	診察室1	現状どおり
	診察室2	現状どおり
2階	集団指導室	【貸館】会議室
	調理実習室	【貸館】調理実習室
	資料保管庫	現状どおり

4 今度のスケジュール（予定）

- ・令和4年9月 : 地域協議会への事前説明
- ・令和4年10月 : 地域協議会への諮問・答申
- ・令和4年12月 : 市議会定例会へ提案
- ・令和5年4月 : 吉川保健センターの廃止
吉川コミュニティプラザとして供用開始

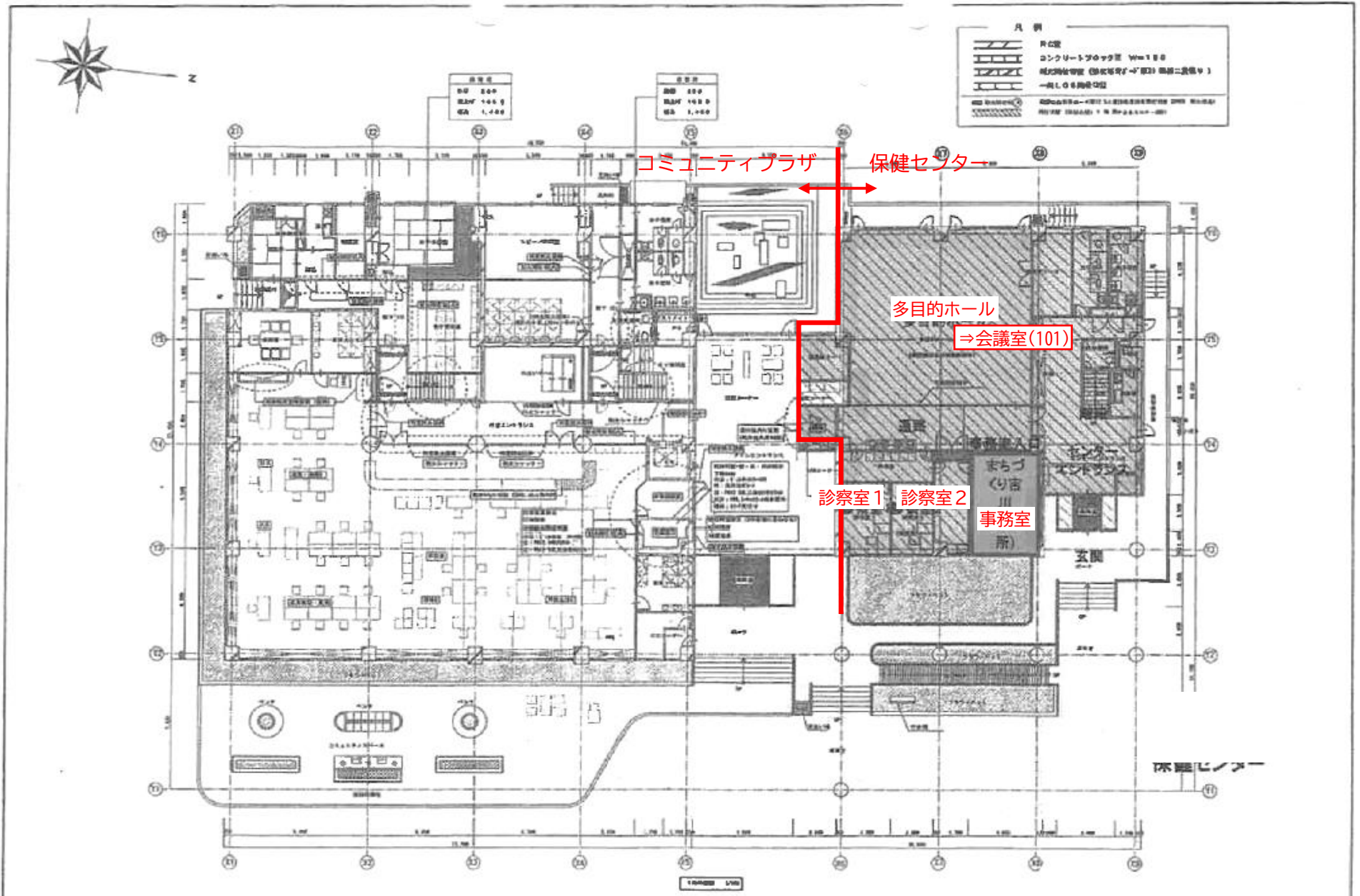
保健センター（柿崎、吉川、中郷、名立）の廃止及びコミュニティプラザへの用途変更について

施設概要

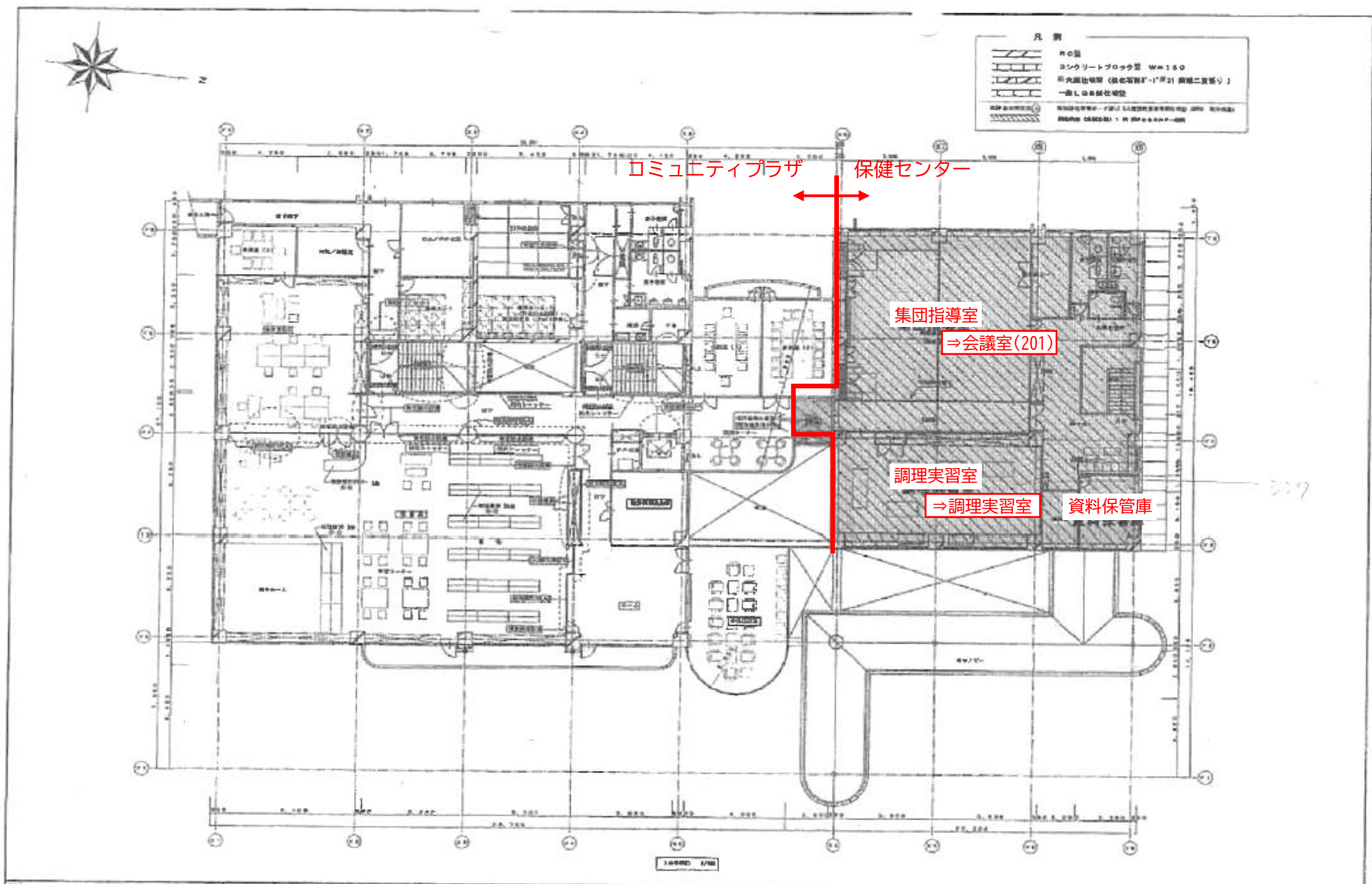
施設名称	柿崎保健センター	吉川保健センター	中郷保健相談センター	名立保健センター
利用時間	8時30分～17時00分	8時30分～17時00分	8時30分～17時00分	8時30分～17時00分
休館日	土曜日及び日曜日、休日 12/29～翌年1/3	土曜日及び日曜日、休日 12/29～翌年1/3	土曜日及び日曜日、休日 12/29～翌年1/3	土曜日及び日曜日、休日 12/29～翌年1/3
施設	地下1階：栄養実習室 1階：運動指導室 2階：保健指導室、栄養指導室 3階：検査室、集団指導室	1階：事務室、多目的ホール、診察室1、診察室2 2階：集団指導室、調理実習室、資料保管庫	1階：事務室、検査室、診察室1、診察室2、集団指導室・計測室、医師控室	2階：集団検診室、調理実習室、研修室、母子保健室
設置年月	昭和58年7月	平成6年9月	昭和61年3月	昭和58年3月
構造	RC造	RC造	RC造	RC造
延べ床面積	603.30 m ²	707.58 m ²	561.15 m ²	497.63 m ²
利用者数 (R2年度)	1,608人	5,660人	1,726人	0人
維持管理経費 (R2年度決算)	1,180千円	2,241千円	1,696千円	2,077千円
用途変更する施設(貸館) [*]	集団指導室→多目的ルーム	多目的ホール→会議室 集団指導室→会議室 調理実習室→調理実習室	集団指導室→多目的室 医師控室→多目的室	—

※コミュニティプラザへの用途変更後に貸館としない施設は、現状の利用を継続する。

【参考】吉川コミュニティプラザ・吉川保健センター 平面図（1階）



【参考】吉川コミュニティプラザ・吉川保健センター 平面図（2階）



答申書案
(附帯意見なし)

第8回吉川区地域協議会
令和4年9月22日
資料2

令和4年〇月〇日

(宛先) 上越市長

吉川区地域協議会
会長 山岸 晃一

新市建設計画の変更について (答申)

令和4年8月9日付け上企第29045-23号で諮問のあった、諮問第80号：新市建設計画の変更について、地域住民の生活に支障はないものと認めます。

上企第 29045-23 号
令和 4 年 8 月 9 日

吉川区地域協議会
会長 山岸 晃一 様

上越市長 中川 幹太
(企画政策部企画政策課)



新市建設計画の変更について (諮問)

下記の事項について、上越市地域自治区の設置に関する条例第 7 条第 2 項の規定により意見を求めます。

記

諮問第 80 号 新市建設計画の変更について
※ 諮問内容については、別紙のとおり。

[諮問理由]

新市建設計画に登載した事業で、令和 5 年度以降に合併特例債の活用が見込まれるものがあることを受け、新市建設計画の変更を行うに当たり、「新市建設計画の変更案」を別紙のとおりとすることについて、吉川区の住民の生活に及ぼす影響という観点から、意見を求めるもの

令和3年度の「吉川スカイトピア遊ランド」における
市及び指定管理者の収支状況等について

第8回吉川区地域協議会

令和4年9月22日

資料3-1

1 施設の概要

所在地	吉川区坪野 1458 番地 2
設置	平成3年度
構造	鉄筋コンクリート造
面積	延床 1,405 m ²
指定管理者	㈱みなもとの郷

2 利用状況

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用者数	9,214 人	4,578 人	5,437 人
うち宿泊	1,530 人	652 人	859 人
うち日帰り	7,684 人	3,926 人	4,578 人

3 市の収支状況

(単位：千円 (④を除く))

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
①収入	-	2	-	
②支出	修繕料	2,032	596	2,656
	吉川スカイトピア遊 ランド管理運営委託 料	2,367	2,517	8,809
	再算定による 増加額 ※1	-	-	6,442
	その他委託料	-	649	176
	使用料及び賃借料	1,123	1,135	1,244
	工事請負費	405	503	-
	備品購入費	73	242	-
	負担金	-	-	161
新型コロナウイルス 減収補填金 ※2	1,793	5,859	-	
合計	7,793	11,501	13,046	
③公費投入額 (②-①)	7,793	11,499	13,046	
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位：円)	846	2,512	2,399	

※1 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理施設について、収支実績に基づき指定管理料を再算定し、増額した額。

※2 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理者に対し、協定に基づいて減収分を補填したもの。

令和3年度の「吉川スカイトピア遊ランド」における
市及び指定管理者の収支状況等について

4 指定管理者の収支状況

(税込、単位：千円)

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度
①収入	利用料金収入	34,968	18,283	20,812
	吉川スカイトピア遊 ランド管理運営委託 料	2,367	2,517	8,809
	再算定による 増加額 ※1	-	-	6,442
	新型コロナウイルス 減収補填金 ※2	1,793	5,859	-
	その他	-	5,602	7,602
②支出		39,730	33,012	38,112
差引 (①-②)		△602	△751	△889

※1 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理施設について、収支実績に基づき指定管理料を再算定し、増額した額。

※2 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理者に対し、協定に基づいて減収分を補填したものの。

○指定管理者による収支改善等の取組

- ・雇用調整助成金など、国や県等の各種助成金を積極的に活用した。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に努めつつ、しだれ桜まつりやゲートボール大会などのイベントを開催し、施設の利用促進につなげた。

令和3年度の「吉川緑地等利用施設」における
市及び指定管理者の収支状況等について

第8回吉川区地域協議会
令和4年9月22日
資料3-2

1 施設の概要

所在地 吉川区尾神 588 番地 1
設置 昭和 57 年度
構造 木造
面積 延床 504 m²
指定管理者 株式会社 備みなもとの郷

2 利用状況

区分	令和元年	令和2年度	令和3年度
利用者数	1,034 人	1,221 人	850 人
うち見はらし荘	454 人	556 人	357 人
うちボブスレー	580 人	665 人	493 人

3 市の収支状況

(単位：千円 (④を除く))

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
①収入	64	-	-	
②支出	修繕料	1,149	-	1,033
	吉川緑地等利用施設 管理運営委託料	1,467	1,467	1,467
	その他委託料	103	106	110
	土地借上料	166	166	166
	工事請負費	393	-	-
	合計	3,278	1,739	2,776
③公費投入額 (②-①)	3,214	1,739	2,776	
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位：円)	3,108	1,424	3,266	

4 指定管理者の収支状況

(税込、単位：千円)

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
①収入	利用料金収入	142	180	141
	吉川緑地等利用施設 管理運営委託料	1,467	1,467	1,467
	その他	488	597	513
	合計	2,100	2,244	2,121
②支出	2,136	1,660	1,686	
差引 (①-②)	△36	584	435	

5 令和3年度の主な取組等について

新型コロナウイルス感染拡大防止を徹底するとともに、安全かつ安心して利用できる施設運営を行った。

令和3年度の「吉川ゆったりの郷」における
市及び指定管理者の収支状況等について

第8回吉川区地域協議会
令和4年9月22日
資料3-3

1 施設の概要

所在地 吉川区長峰100番地
設置 平成9年度
構造 鉄筋コンクリート造
面積 延床3,457㎡
指定管理者 ㈱ゆったりの郷

2 利用状況

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用者数	127,078人	74,667人	87,354人
うち日帰り温浴	75,085人	42,989人	54,077人
うち食堂	49,253人	30,045人	30,835人
うちゲートボール場	1,620人	1,363人	1,915人

3 市の収支状況

(単位：千円 (④を除く))

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
①収入	55	-	-	
②支出	修繕料	6,126	6,547	6,853
	吉川ゆったりの郷管 理運営委託料	5,288	2,644	15,874
	再算定による 増加額※1	-	-	15,874
	その他委託料	1,224	710	617
	備品購入費	-	-	-
	工事請負費	6,189	3,817	7,247
	新型コロナウイルス 減収補填金※2	4,521	23,218	-
その他	293	297	297	
合計	23,641	37,233	30,888	
③公費投入額 (②-①)	23,586	37,233	30,888	
④利用者1人当たりの 公費投入額(単位：円)	186	499	354	

※1 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理施設について、収支実績に基づき指定管理料を再算定し、増額した額。

※2 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理者に対し、協定に基づいて減収分を補填したものの。

令和3年度の「吉川ゆったりの郷」における
市及び指定管理者の収支状況等について

4 指定管理者の収支状況

(税抜、単位：千円)

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度
①収入	利用料金収入	45,692	26,680	31,739
	吉川ゆったりの郷管 理運営委託料	4,851	2,403	14,431
	再算定による 増加額※1	-	-	14,431
	新型コロナウイルス 減収補填金※2	4,521	23,218	-
	その他	103,441	53,283	58,489
②支出		157,508	107,273	104,653
差引 (①-②)		997	△1,689	6

※ 金額は全て税抜き

※1 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理施設について、収支実績に基づき指定管理料を再算定し、増額した額。

※2 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理者に対し、協定に基づいて減収分を補填したものの。

5 令和3年度の主な取組等について

- ・ 雇用調整助成金など、国や県等の各種助成金を積極的に活用した。
- ・ 新型コロナウイルス感染症による損失を抑制するため、休館日を増やしたほか、温浴及びレストランの営業時間を短縮し、損失額の縮減に努めた。
- ・ 清掃業務委託の回数を見直し、従業員対応とすることで、経費縮減に努めた。

出資法人等経営状況報告書

1 作成年月日及び担当部署

作成年月日	令和4年8月23日	担当部署	産業観光交流部 施設経営管理室
-------	-----------	------	-----------------

※以下は令和4年3月31日現在の内容です。

2 法人等の概要

法人名	株式会社 みなもとの郷		
代表者	代表取締役 内藤 潔		
	<input checked="" type="checkbox"/> 常勤	<input type="checkbox"/> 非常勤	<input checked="" type="checkbox"/> プロパー <input type="checkbox"/> 市兼務 <input type="checkbox"/> その他
所在地	新潟県上越市吉川区坪野 1458 番地 2		
設立年月日	平成12年2月9日 /		
資本金	10,000 千円	市出資割合	51.0%
設立目的	吉川区源地域を中心とした中山間地の地域振興を目的に市の所有若しくは管理する不動産及び入浴施設その他の施設の管理運営を行うため。		
主な事業	(1)吉川スカイトピア遊ランドの管理運営 (2)吉川緑地等利用施設の管理運営 (3)吉川地域バス運行事業の運行業務受託 (4)吉川観光協会の事務受託 (5)尾神岳スカイスポーツエリア運営委員会の事務受託		

3 役員数

(単位：人)

	常勤	非常勤	計	内訳		
				プロパー	市兼務	その他
取締役	1	5	6	6	0	0
監査役	0	1	1	1	0	0
計	1	6	7	7	0	0

4 職員数

(単位：人)

	計	内訳	
		プロパー	市兼務
正社員	3	3	0
その他	26	26	0
計	29	29	0

5 事業実績（概要）

【第23期の経営状況】

- ・ 第23期の売上高は、前期と比較して9,416千円増（33.6%の増）の37,414千円となりました。新型コロナウイルス感染症の影響はあったものの、新潟県や上越市の宿泊キャンペーン等を積極的に活用した結果、宿泊者数が増えたことなどから売上高が増加しました。
- ・ 売上原価は、前期と比較して642千円減（8.3%減）の7,108千円となったほか、販売費及び一般管理費では、人件費や光熱水費が増加したことなどから、前期と比較して3,887千円増（12.2%の増）の35,623千円となりました。
- ・ この結果、最終的な当期純利益は859千円となり単年度黒字を計上したほか、第23期末における利益剰余金は295千円となりました。

【主な取組内容】

- ・ 新潟県の県民割キャンペーンや、市の宿泊割引キャンペーンなどを活用し、利用者の獲得にと取り組みました。
- ・ 4月には、尾神しだれ桜まつりを開催し、しだれ桜のライトアップや売店を設置し、地域の観光資源をPRしました。
- ・ 7月にはゲートボール大会を開催し、施設の利用促進に繋げました。
- ・ 越後田舎他県事業や子供会等の体験を受け入れました。

【施設の利用実績】

○ 吉川スカイトピア遊ランド

（単位：人）

		第21期	第22期	第23期
宿 泊		1,530	652	859
休 憩（食堂）		4,461	2,314	2,265
体験交流 センター	入館者 （入浴）	2,734	1,585	2,160
	体験者	489	27	153
小 計		9,214	4,578	5,437

- ・ 第23期の利用者数は5,437人となり、前期と比較して859人の増（18.8%の増）となりました。このうち、宿泊の利用者は859人となり、前期と比較して207人の増（31.7%の増）となりました。

○ 吉川緑地等利用施設

（単位：人）

		第21期	第22期	第23期
見はらし荘		454	556	357
スポーツスライド		580	665	493
小 計		1,034	1,221	850

- ・ 第23期の利用者数は850人となり、前期と比較して371人の減（30.4%の減）となりました。このうち、スポーツスライドの利用者数は493人となり、前期と比較して172人の減（25.9%の減）となりました。

6 財務状況（税抜）

（単位：千円）

項 目		第 21 期	第 22 期	第 23 期
		自 平成 31 年 4 月 1 日 至 令和 2 年 3 月 31 日	自 令和 2 年 4 月 1 日 至 令和 3 年 3 月 31 日	自 令和 3 年 4 月 1 日 至 令和 4 年 3 月 31 日
損益計算書	売上高	44,998	27,998	37,414
	売上原価	11,251	7,750	7,108
	売上総利益	33,747	20,248	30,306
	販売費及び 一般管理費	36,095	31,736	35,623
	営業利益	△2,347	△11,488	△5,317
	営業外収益	1,859	11,498	6,316
	営業外費用	0	0	0
	経常利益	△488	9	999
	特別利益	0	0	0
	特別損失	0	0	0
	税引前当期純利益	△488	9	999
	法人税等	70	70	140
当期純利益	△558	△61	859	
項 目		令和 2 年 3 月 31 日現在	令和 3 年 3 月 31 日現在	令和 4 年 3 月 31 日現在
貸借対照表	資 産	13,301	11,950	13,689
	負 債	3,804	2,514	3,394
	純資産	9,497	9,436	10,295
	資本金	10,000	10,000	10,000
	利益剰余金	△503	△564	295
	その他	0	0	0

※ 金額については、千円未満を四捨五入して表示しており、端数処理の関係上、決算書及び計算結果と一致しない場合があります。

7 市からの財政支出等

(1) 委託額 (税込)

(単位:千円)

内訳		令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
①	吉川スカイトピア遊ランド指定管理委託料	2,367	2,517	8,809	R3年度は見直し分の6,442千円を含む
②	吉川緑地等利用施設指定管理委託料	1,467	1,467	1,467	
③	吉川地域バス運行業務委託料	4,212	3,479	3,580	
計		8,046	7,463	13,856	

(2) 財政援助額 (税込)

(単位:千円)

内訳		令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
①	補助金 (助成金)	0	0	0	
②	貸付金	0	0	0	
③	損失補償	0	0	0	
④	債務保証	0	0	0	
⑤	その他 (補填金)	1,793	5,859	0	指定管理減収補填金
		257	178	193	シニアパスポート減免補填金
計		2,050	6,037	193	

8 今後の経営計画等

(1) 次期事業計画

<p>【第24期事業計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・営業努力と経費削減に努めながら地域活性化を図る会社として、これまでと同様に主要事業であるスカイトピア遊ランドの管理運営業務をはじめ、諸事業の持続性を第一義に考えて取組を進める。 ・地域バスの運行業務、道の駅直売所の運営等に取り組むほか、スカイトピア遊ランドの運営においては、地域住民の安全・安心にも配慮するなど、引き続き地域の諸課題にも対応しつつ、各種事業等を積極的に展開し、雇用の場の創出と地域の活性化を図りながら地域福祉の向上に貢献する。 ・スカイトピア遊ランドは地域活性化の拠点施設としての位置付けにあることを確信し、当社の経営についても真剣に検討を重ねながら、事業の継続化が図られるように取り組む。 ・コロナ禍に係る国・県・市の支援策等を積極的に活用するとともに、日常的に市との協議・連携を深め、事業の持続化に努める。
--

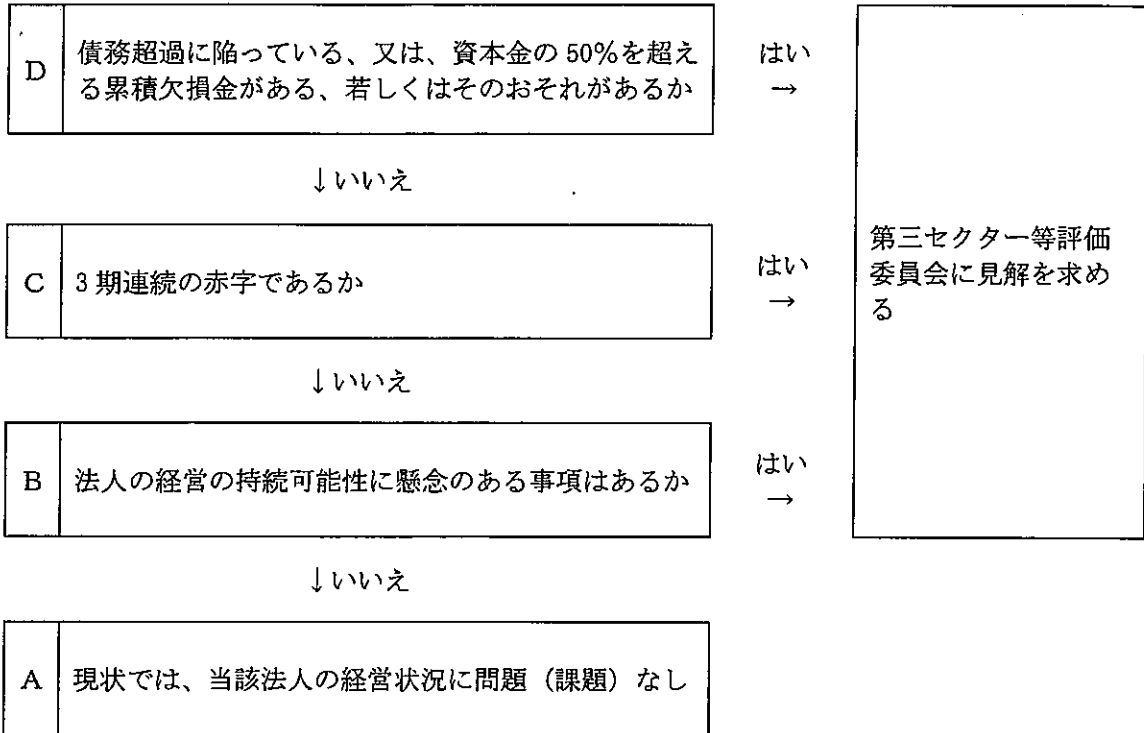
(2) 中長期経営計画

なし

9 令和4年度 経営状況の分析・評価

(1) 第三セクター等の経営状況の分析・評価のフローチャート

※「第三セクター等に対する関与方針」から抜粋



フローチャートによる評価基準		備考
A	経営状況に問題（課題）なし	引き続き経営努力を行う
B	法人の経営の持続可能性に懸念がある	経営健全化の可能性について、第三セクター等評価委員会に見解を求める
C	当期純利益が3期連続の単年度赤字である	
D	債務超過に陥っている、又は、資本金の50%を超える累積欠損金がある	

フローチャートによる評価	A
【特記事項】	

出資法人等経営状況報告書
(J-ホールディングス(株)事業子会社)

第8回吉川区地域協議会
 令和4年9月22日
 資料3-5

1 作成年月日及び担当部署

作成年月日	令和4年9月14日	担当部署	産業観光交流部 施設経営管理室
-------	-----------	------	-----------------

※以下は令和3年3月31日現在の内容です。

2 法人等の概要

法人名	株式会社 ゆったりの郷		
代表者	代表取締役 山下 悟		
	<input checked="" type="checkbox"/> 常勤 <input type="checkbox"/> 非常勤	<input checked="" type="checkbox"/> プロパー <input type="checkbox"/> 市兼務 <input type="checkbox"/> その他	
所在地	新潟県上越市吉川区長峰100番地		
設立年月日	平成8年12月2日		
資本金	25,000千円		
設立目的	旧吉川町において観光事業の経営や農村産物の加工・販売、特産開発など、農村業と観光事業の有機的な結合による産業の総合的な発展を目指して設立。		
主な事業	吉川ゆったりの郷の管理運営		

3 役員数

(単位：人)

	常勤	非常勤	計	内訳		
				プロパー	市兼務	その他
取締役	1	0	1	1	0	0
監査役	0	1	1	1	0	0
計	1	1	2	2	0	0

4 職員数

(単位：人)

	計	内訳	
		プロパー	市兼務
正社員	9	10	0
その他	8	10	0
計	17	20	0

5 財務状況（税込）

（単位：千円）

項 目		第 24 期	第 25 期	第 26 期
		自 平成 31 年 4 月 1 日 至 令和 2 年 3 月 31 日	自 令和 2 年 4 月 1 日 至 令和 3 年 3 月 31 日	自 令和 3 年 4 月 1 日 至 令和 4 年 3 月 31 日
損益計算書	売上高	152,444	76,520	95,825
	売上原価	41,788	20,278	20,703
	売上総利益	110,656	56,242	75,122
	販売費及び 一般管理費	115,721	85,794	83,150
	営業利益	△5,064	△29,552	△8,028
	営業外収益	5,161	29,065	8,034
	営業外費用	0	0	0
	経常利益	97	△488	6
	特別利益	900	1,700	800
	特別損失	0	1,200	800
	税引前当期純利益	997	12	6
	法人税等	588	180	180
	当期純利益	409	△168	△174
項 目		令和 2 年 3 月 31 日現在	令和 3 年 3 月 31 日現在	令和 4 年 3 月 31 日現在
貸借対照表	資 産	50,028	44,909	45,749
	負 債	14,949	9,997	11,011
	純資産	35,080	34,912	34,738
	資本金	25,000	25,000	25,000
	利益剰余金	10,080	9,912	9,738
その他	0	0	0	

※ 金額については、千円未満を四捨五入して表示しており、端数処理の関係上、決算書及び計算結果と一致しない場合があります。

出資法人等経営状況報告書

第8回吉川区地域協議会

令和4年9月22日

資料3-6

1 作成年月日及び担当部署

作成年月日	令和4年8月25日	担当部署	産業観光交流部 産業政策課
-------	-----------	------	---------------

※以下は令和4年3月31日現在の内容です。

2 法人等の概要

法人名	株式会社 よしかわ杜氏の郷		
代表者	代表取締役 野口 和広		
	<input type="checkbox"/> 常勤	<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤	<input type="checkbox"/> プロパー <input checked="" type="checkbox"/> 市兼務 <input type="checkbox"/> その他
所在地	新潟県上越市吉川区杜氏の郷1番地		
設立年月日	平成11年3月24日		
資本金	92,075千円	市出資割合	82.6%
設立目的	酒米の生産と地酒醸造による消費者との結び付きにより地域農業の発展、農家所得の向上を図るため。		
主な事業	(1) 酒類の製造・販売 (2) 道の駅よしかわ杜氏の郷の管理運営		

3 役員数

(単位：人)

	常勤	非常勤	計	内訳		
				プロパー	市兼務	その他
取締役	0	3	3	2	1	0
監査役	0	1	1	1	0	0
計	0	4	4	3	1	0

4 職員数

(単位：人)

	計	内訳	
		プロパー	市兼務
正社員	4	4	0
その他	6	6	0
計	10	10	0

5 事業実績（概要）

【第24期の経営状況】

- ・売上高は、前期と比較して10,844千円増（19.6%増）の66,179千円となりました。依然として新型コロナウイルスの感染症拡大の影響を受け、コロナ禍前の売上水準には至らなかったものの、新たな商品の開発・販売やイベントの開催等により、前期よりも売上高を増やすことができました。
- ・販売費及び一般管理費は、イベント等に参加したことに伴い旅費や広告宣伝費が増加するなど、前期と比較して3,510千円増（14.2%増）の28,309千円となりました。
- ・これにより、営業利益は△10,628千円となり、国や県、市からの各種助成金、補助金などによる営業外収益があったことから、経常利益は△2,987千円となりました。
- ・この結果、当期純利益は△3,167千円を計上し、前期から3,824千円改善したものの7期連続で単年度赤字となりました。
- ・第24期末の累積欠損金は、前期に行った減資に伴う欠損填補があったことから、当期純損失と同額の3,167千円となりました。

【第24期の主な取組】

- ・コロナ禍においても売上増加を目指し、普段日本酒に親しみが少ない若者や女性をターゲットに据え、「県内ミュージシャンとのコラボ日本酒」や「ゆず酒」の開発・販売を行いました。
- ・店内での総菜販売により日本酒購入を促す取組や、道の駅のそば祭りにおいて「新酒と新そばのコラボセット」を販売するなど店舗売上の向上を図りました。
- ・売上増加や経費削減に取り組んだほか、コロナ禍により販売量の見通しが立たないことや依然として厳しい経営環境であることから、生産量や在庫量を調整し、赤字幅の縮減に努めました。

【店舗利用状況】

区 分	第22期 (H31.4～R2.3)	第23期 (R2.4～R3.3)	第24期 (R3.4～R4.3)
店舗利用者数	9,907 人	4,412 人	6,471 人

6 財務状況（税抜）

（単位：千円）

項目	第22期	第23期	第24期	
	自平成31年4月1日 至令和2年3月31日	自令和2年4月1日 至令和3年3月31日	自令和3年4月1日 至令和4年3月31日	
損益計算書	売上高	80,666	55,335	66,179
	売上原価	56,664	46,497	48,498
	売上総利益	24,002	8,838	17,681
	販売費及び 一般管理費	33,040	24,799	28,309
	営業利益	△9,038	△15,961	△10,628
	営業外収益	4,097	9,379	7,856
	営業外費用	34	119	215
	経常利益	△4,975	△6,701	△2,987
	特別利益	0	0	0
	特別損失	0	0	0
	税引前当期純利益	△4,975	△6,701	△2,987
	法人税等	290	290	180
	当期純利益	△5,265	△6,991	△3,167
項目	令和2年3月31日現在	令和3年3月31日現在	令和4年3月31日現在	
貸借対照表	資産	117,179	114,687	112,064
	負債	13,850	18,350	18,894
	純資産	103,328	96,337	93,170
	資本金	184,150	92,075	92,075
	利益剰余金	△80,822	△6,991	△3,167
その他	0	11,253	4,262	

※ 金額については、千円未満を四捨五入して表示しており、端数処理の関係上、決算書及び計算結果と一致しない場合があります。

7 市からの財政支出等

(1) 委託額 (税込)

(単位:千円)

内訳		令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
①	道の駅よしかわ杜氏の郷 管理業務委託料	3,292	3,684	3,787	
計		3,292	3,684	3,787	

(2) 財政援助額 (税込)

(単位:千円)

内訳		令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
①	補助金 (助成金)	30	425	1,225	中小企業者チャレンジ応援事業 補助金、事業者経営支援金
②	貸付金	0	0	0	
③	損失補償	0	0	0	
④	債務保証	0	0	0	
⑤	その他 ()	0	0	0	
計		30	425	1,225	

8 今後の経営計画等

(1) 次期事業計画

第25期は、国内でのレジヤの機運、経済活動の再開を機と捉え、売店では定期的なイベントの開催、営業では県外催事への参加を中心に以下の施策を実施し、売上高75,860千円、経常利益の単年度黒字化を目指します。

(1) コロナ禍に対応した販売の実施

- ① レジヤ需要に即したイベントの開催
- ② 県外百貨店での催事による販売の再開

(2) 新たな需要を生む日本酒消費者への営業活動 (継続)

- ① インターネットを通じた営業活動の強化
- ② 若者に親しまれる清酒の開発

(3) 店舗売上向上の推進 (継続)

- ① 道の駅と連携したイベントの開催
- ② 来店しやすい環境づくり

(4) 組織の活性化等

- ① 部署部門問わず横断的な仕事の共有による効率化
- ② 施設内外の衛生管理と整理整頓の実施
- ③ 効率化に向けた設備導入や安定供給に向けた設備更新等の検討

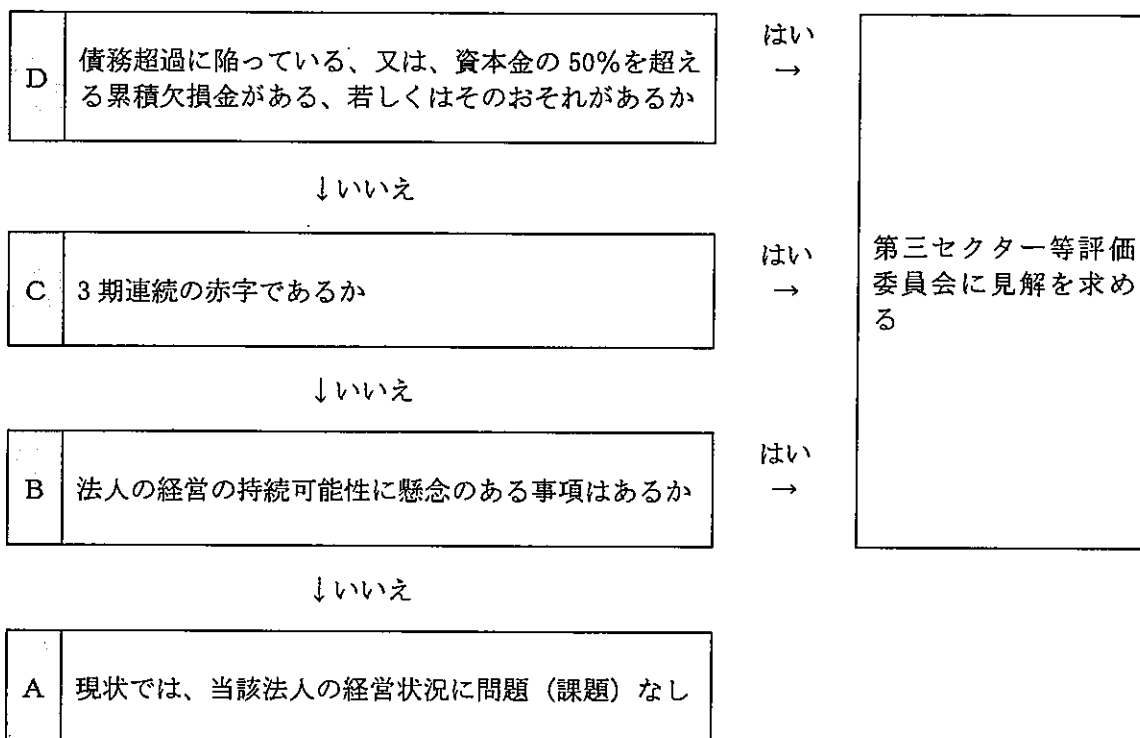
(2) 中長期経営計画

なし

9 令和4年度 経営状況の分析・評価

(1) 第三セクター等の経営状況の分析・評価のフローチャート

※「第三セクター等に対する関与方針」から抜粋



フローチャートによる評価基準		備考
A	経営状況に問題（課題）なし	引き続き経営努力を行う
B	法人の経営の持続可能性に懸念がある	経営健全化の可能性について、第三セクター等評価委員会に見解を求める
C	当期純利益が3期連続の単年度赤字である	
D	債務超過に陥っている、又は、資本金の50%を超える累積欠損金がある	

フローチャートによる評価	C
--------------	---

【特記事項】
 7期連続で単年度赤字を計上したことからC評価となるが、令和3年度の第三セクター等評価委員会での指摘のとおり、株式譲渡による民営化の取組を進めていることから、次頁以降の分析・評価の対象としないこととした。

10 令和3年度 第三セクター等評価委員会の分析・評価に対する対応状況

令和3年度 第三セクター等評価委員会の分析・評価【概要】
<p>① 黒字化に向け、製造原価等の見直しが必要である。</p> <p>② 売上げについて、販路・販売先ごとに推移や変動要因を分析する必要がある。</p> <p>③ 目先の改善課題やアクションプランだけでなく、中長期的なビジョンを描くべきであり、M&Aという選択肢を前向きに検討すべき。</p>
第三セクターによる対応状況
<p>① 仕込み時期以外（夏期）の人員体制を見直すなど、製造原価削減に向けた取組を進めました。</p> <p>② コロナ禍により催事での売上げが減少しているため、地元企業等へトップセールスや地域での感謝祭の開催など売上げの挽回に努めました。</p> <p>③ 取締役会において、民営化の検討を開始することを承認しました。</p>
市担当部署による対応状況
<ul style="list-style-type: none"> ・市議会、地域協議会、株主に対し、同社の経営健全化に向けた取組（民間譲渡）についての説明を行いました。 ・安定した経営体制の構築に向けて、民間譲渡を第一候補として、関係者への説明や株式評価を実施しました。

第24期 事業報告書

新型コロナウイルス感染症に加え、戦争による混乱が世界経済に大きな打撃を与えており、これらを起因とした物価上昇は長期化の不安が拭えない状況にあります。

弊社でも、政府のまん延等重点措置により、1月中旬からの2ヶ月間は、売店が閑散とした状態が続きました。そんな中でも、地元のお客様や株主様に多く来店いただき、弊社の商品をご愛顧いただいたことに、心より感謝申し上げます。

酒造りにつきましては、昨年よりは造りを増やしましたが、コロナ禍前のような販売の見通しが見えない状況であり、生産量や在庫を抑えている状況にあります。感染が収束した際には、酒造り、販売ともに皆様のご期待に応えていきたいと考えています。

第24期は、株主総会での事業計画に従い、「新たな需要を生んでいる日本酒消費への営業活動」「店舗売上向上の推進」「組織の活性化」をテーマに営業を行いました。

「新たな需要を生んでいる消費への営業活動」は、県内ミュージシャンとのコラボ日本酒や「ゆず酒」の開発・販売、ゆず酒のお披露目も兼ねた秋の感謝祭の実施等を行い、「若者・女性」という普段日本酒に親しみのない層の取り込みを図りました。

次に「店舗売上向上の推進」につきましては、店内での総菜販売により日本酒の購入を促す取り組みや、12月に開催した道の駅のそば祭りにて「新酒と新そばのコラボセット」の販売、営業時間を1時間遅い18時に変更する等の取り組みをしました。

また「組織の活性」につきましては、製造・経理・営業による定例ミーティングを実施し、部門間での横断的な仕事の共有や効率化を図りました。また、老朽化した設備更新を検討し、問題点とそれに対する改善策の検討を行いました。

以上の取り組みの結果、今期の売上げは前年度比+10,844千円、前年度比+19.6%となりました。また国・県・市からの補助金の給付手続きや従業員の休業による人件費の圧縮等にてコロナ禍の売上減少への対応をしましたが、当期純損失3,167千円（前年度比3,824千円の改善）となりました。

翌期もコロナ禍での営業となりますが、売上げの増加と経費の縮減に努め、利益の確保に努めてまいります。

決 算 報 告 書

第 24 期

自 令和 3年 4月 1日

至 令和 4年 3月31日

株式会社 よしかわ杜氏の郷

上越市 吉川区杜氏の郷1番地

貸借対照表

株式会社 よしかわ杜氏の郷

令和 4年 3月31日現在

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	58,472,122	【流動負債】	6,219,190
現金及び預金	16,672,363	買掛金	883,472
電子記録債権	1,501,590	未払金	3,065,953
売掛金	8,603,794	前受金	29,265
カード等未収入金	99,272	未払消費税等	2,060,500
商品	887,690	未払法人税等	180,000
製品	5,260,931		
半製品	19,938,828	【固定負債】	12,674,352
原材料	2,572,158	長期借入金	12,000,000
貯蔵品	2,481,688	長期未払金	674,352
前払費用	173,611	負債の部合計	18,893,542
未収入金	251,184		
未収還付法人税等	198	純資産の部	
立替金	28,815	【株主資本】	93,170,269
		資本金	92,075,000
【固定資産】	53,591,689	(資本剰余金)	4,262,337
(有形固定資産)	52,967,969	資本準備金	0
建物	30,661,650	その他資本剰余金	4,262,337
建物付属設備	1,436,491		
構築物	2,345,985	(利益剰余金)	-3,167,068
機械装置	582,592	利益準備金	0
車両運搬具	1	(その他利益剰余金)	-3,167,068
工具器具備品	1,049,097	繰越利益剰余金	-3,167,068
土地	15,898,270		
有形リース資産	993,883		
(無形固定資産)	505,500		
電話加入権	40,000		
無形リース資産	465,500		
(投資その他の資産)	118,220		
出資金	60,000		
投資有価証券	50,000		
リサイクル預託金	8,220		
【繰延資産】	0		
		純資産の部合計	93,170,269
資産の部合計	112,063,811	負債・純資産合計	112,063,811

損益計算書

株式会社 よしかわ杜氏の郷

自 令和 3年 4月 1日
至 令和 4年 3月31日

(単位：円)

科 目	金 額	金 額
【 売 上 高 】		
売 上 高	62,880,956	
指 定 管 理 費 収 入	3,442,740	
売 上 値 引 戻 り 高	△ 145,054	66,178,642
【 売 上 原 価 】		
期 首 商 品 棚 卸 高	736,803	
期 首 製 品 棚 卸 高	33,703,480	
商 品 仕 入 高	3,937,988	
酒 当 期 製 造 原 価	3,388,000	
合 計	32,818,927	
期 末 商 品 棚 卸 高	74,585,198	
期 末 製 品 棚 卸 高	△ 887,690	
	△ 25,199,759	48,497,749
売 上 総 利 益		17,680,893
【 販 売 ・ 一 般 管 理 費 】		28,309,252
営 業 損 失		10,628,359
【 営 業 外 収 益 】		
受 取 利 息	97	
受 取 配 当 金	909	
為 替 差 益	28	
雑 収 入	7,854,949	7,855,983
【 営 業 外 費 用 】		
支 払 利 息	209,992	
雑 損 失	4,700	214,692
経 常 損 失		2,987,068
【 特 別 利 益 】		0
【 特 別 損 失 】		0
税 引 前 当 期 純 損 失		2,987,068
法 人 税 ・ 住 民 税 及 び 事 業 税		180,000
当 期 純 損 失		3,167,068

販売費及び一般管理費明細書

株式会社 よしかわ杜氏の郷

自 令和 3年 4月 1日
至 令和 4年 3月 31日

(単位：円)

科 目	金	額
役員報酬	60,000	
給与	8,385,913	
雑料	1,349,121	
法定福利	1,207,616	
福厚	690,865	
販容	139,399	
発器	1,777,356	
販送	2,399,836	
燃亮	490,619	
通信	377,577	
接待	343,887	
広告	260,049	
事務	2,735,465	
消耗品	98,532	
水道	761,945	
払込	350,312	
支店	1,133,058	
諸会	492,076	
寄附	990,140	
租税	627,150	
減価	1,164	
管	11,000	
雑	253,816	
	2,025,787	
	1,145,027	
	201,542	
合 計		28,309,252

製造原価報告書

株式会社 よしかわ杜氏の郷

自 令和 3年 4月 1日
至 令和 4年 3月31日

(単位 : 円)

科 目	金 額	金 額
【材 料 費】		
期首材料棚卸高	2,871,103	
材料仕入高	11,933,421	
合計	14,804,524	
期末材料棚卸高	△ 2,572,158	12,232,366
【労 務 費】		
賃金	9,651,604	
法定福利費	1,830,502	
厚生費	351,966	11,834,072
【外 注 費】		0
【製 造 経 費】		
電力	2,730,829	
ガス	49,820	
水道	84,203	
減価償却費	1,695,280	
修繕費	763,266	
租税公課	1,199,284	
保険料	206,968	
消耗品費	1,287,677	
雑費	363,545	8,380,872
総 製 造 費 用		32,447,310
期首仕掛品棚卸		371,617
合 計		32,818,927
当 期 製 造 原 価		32,818,927

株主資本等変動計算書

株式会社 よしかわ杜氏の郷

自 令和 3年 4月 1日
至 令和 4年 3月 31日

(単位：円)

【株主資本】		
資本金	当期首残高	92,075,000
	当期変動額	0
	当期末残高	<u>92,075,000</u>
新株式申込証拠金	当期首残高	0
	当期変動額	0
	当期末残高	<u>0</u>
資本剰余金		
資本準備金	当期首残高	0
	当期変動額	0
	当期末残高	<u>0</u>
その他資本剰余金	当期首残高	11,253,186
	当期変動額	
	減資による欠損填補	-6,990,849
	当期末残高	<u>4,262,337</u>
資本剰余金計	当期首残高	11,253,186
	当期変動額	-6,990,849
	当期末残高	<u>4,262,337</u>
利益剰余金		
利益準備金	当期首残高	0
	当期変動額	0
	当期末残高	<u>0</u>
別途積立金	当期首残高	0
	当期変動額	0
	当期末残高	<u>0</u>
繰越利益剰余金	当期首残高	-6,990,849
	当期変動額	
	当期純利益	-3,167,068
	減資による欠損填補	6,990,849
	当期末残高	<u>-3,167,068</u>
その他利益剰余金	当期首残高	-6,990,849
	当期変動額	3,823,781
	当期末残高	<u>-3,167,068</u>
利益剰余金計	当期首残高	-6,990,849
	当期変動額	3,823,781
	当期末残高	<u>-3,167,068</u>

株主資本等変動計算書

株式会社 よしかわ杜氏の郷

自 令和 3年 4月 1日
至 令和 4年 3月31日

(単位：円)

自己株式	当期首残高	0
	当期変動額	0
	当期末残高	0
自己株式申込証拠金	当期首残高	0
	当期変動額	0
	当期末残高	0
株主資本合計	当期首残高	96,337,337
	当期変動額	-3,167,068
	当期末残高	93,170,269
【評価・換算差額等】	当期首残高	0
	当期変動額	0
	当期末残高	0
【新株予約権】	当期首残高	0
	当期変動額	0
	当期末残高	0
【純資産合計】	当期首残高	96,337,337
	当期変動額	-3,167,068
	当期末残高	93,170,269

個別注記表

株式会社 よしかわ杜氏の郷

自 令和 3年 4月 1日
至 令和 4年 3月31日

(資産の評価基準及び評価方法)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法

(1) その他有価証券

移動平均法による原価法を採用しております。

2. たな卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法を採用しております。

(固定資産の減価償却方法)

2. 固定資産の減価償却方法

(1) 有形固定資産

定率法又は旧定率法を採用しております。

ただし、平成10年4月1日以後に取得した建物(附属設備を除く)については旧定額法を採用しております。

(2) 無形固定資産

定額法を採用しております。

ただし、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用期間(5年)に基づく定額法を採用しております。

(3) リース資産

法人税法の規定に基づくリース期間定額法を採用しております。

(その他 計算書類の作成基準)

3. 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税抜方式を採用しております。

(会計方針を変更した場合)

1. 科目の分割

「販売促進費」は、従来「広告宣伝費」に含めて処理をしておりましたが、当期から区分して表示しております。

(貸借対照表に関する注記)

1. 有形固定資産の減価償却累計額 156,698,876円

(株主資本等変動計算書の注記)

○発行済株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数に関する事項

(一株当たり情報に関する注記)

1株当たり純資産額 25,297円 38銭

1株当たり当期純損失 859円 91銭

第25期事業計画書

1 事業方針

昨年度は新型コロナウイルス感染症の収束が見えず、弊社を取り巻く経営状況が厳しい状況にありました。とりわけ、観光来客数が激減し売店売上げは苦しい状況にあり、また県外大手百貨店の催事への出店が困難な状況であることも売上げの減少に影響を与えていました。

ただし、本年度はゴールデンウイーク以降、国内でのレジャーの機運が高まっており、経済活動の再開がみられます。これを機と捉え、売店では定期的なイベントの開催、営業では県外催事への参加を進めてまいります。また、昨年度の事業計画を継続し、以下の取り組みを推進することで、単年度黒字に向けた経営を行います。

2 事業計画

(1) コロナ禍に対応した販売の実施

- ① レジャー需要に即したイベントの開催
- ② 県外百貨店での催事による販売の再開

(2) 新たな需要を生む日本酒消費者への営業活動（継続）

- ① インターネットを通じた営業活動の強化
- ② 若者に親しまれる清酒の開発

(3) 店舗売上向上の推進（継続）

- ① 道の駅と連携したイベントの開催
- ② 来店しやすい環境づくり

(4) 組織の活性化等

- ① 部署部門問わず横断的な仕事の共有による効率化
- ② 施設内外の衛生管理と整理整頓の実施
- ③ 効率化に向けた設備導入や安定供給に向けた設備更新等の検討

第25期收支計画書

単位：千円
(千円未満四捨五入)

区 分	第25期計画			第24期実績	
	金額	構成比	前年比	金額	構成比
売上高	75,860	100.0%	114.6%	66,179	100.0%
売上原価	54,513	71.9%	112.4%	48,498	73.3%
売上総利益	21,347	28.1%	120.7%	17,681	26.7%
販売費及び一般管理費	26,721	35.2%	94.4%	28,309	42.8%
営業利益	△ 5,374	-7.1%	50.6%	△ 10,628	-16.1%
営業外収益	5,782	7.6%	73.6%	7,856	11.9%
営業外費用(法人税等)	400	0.5%	101.3%	395	0.6%
当期純利益	8	0.0%	-	△ 3,167	-4.8%

参 考 資 料

(R4.9.22.第8回吉川区地域協議会)

吉川区地域協議会 視察研修実施状況

年 度	月 日	視 察 地	備 考
平成 30 年度	11 月 19 日(月)	糸魚川市 ・ NPO 法人ぐり〜んバスケット (交通弱者対策) ・ 糸魚川駅前 (大火からの復旧状況)	・参加委員 13 人 ・ 視察後協議会 開催
平成 29 年度	11 月 14 日(火)	・ 新潟県立吉川高等特別支援学校 ・ 十日町市 (地域おこし協力隊等)	・参加委員 10 人 ・ 視察後協議会 開催
平成 28 年度	2 月 16 日 (木)	・ 上越市頸北斎場	・参加委員 12 人 ・ 視察後協議会 開催
平成 27 年度	10 月 23 日(金)	・ 柏崎・刈羽原子力発電所 ・ 自衛隊高田駐屯地 ・ INPEX メガソーラー	・参加委員 12 人
平成 26 年度	10 月 24 日(金)	・ 谷浜保育園 ・ 東北電力上越営業所 ・ 上越地域消防本部	・参加委員 16 人 ・ 視察後協議会 開催